

青梅市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）中間改訂（案）への パブリック・コメント実施結果

■ 1 実施期間

令和5年8月9日（水）から令和5年8月24日（木）まで

■ 2 意見募集結果

4名・5件（窓口2件、市ホームページアンケートフォーム3件）

■ 3 意見要旨および市の考え方

番号	意見要旨	市の考え方
1	<p>今井4丁目の都内最大級農地を物流施設にしながら、カーボンニュートラルを語るのが不思議ですね。山林に囲まれた青梅市ではあるが、街中の緑化や花壇の花の規模はお粗末である。</p> <p>カーボンニュートラルも大切だが、まずは土のある場所を大切にし、緑化や花でいっぱいにすることが早いのではないかと。</p>	<p>目標達成のための具体的な取組は、次期（令和7年度～）の青梅市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定作業の中で検討してまいります。</p>
2	<p>再生可能エネルギーの中では「水素の活用」が最も有効だと感じています。特に「グリーン水素」の活用は産業界の至るところで議論されています。その前に、「何故、水素なのか？どのように取組んでいけば良いのか。」を市民も含めて学習していく機会が必要だと思います。例えば、市役所の1Fに展示コーナーを創設するのも一策だと思います。</p>	<p>ゼロカーボンシティの実現に向け、再生可能エネルギー等の導入促進は、欠かすことのできない施策であります。その具体的な検討を行う次期（令和7年度～）の青梅市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定作業の中で検討してまいります。</p>

番号	意見要旨	市の考え方
3	<p>企業産廃が増加傾向であることに對して、大企業や大規模事業所は単体でも樹脂産廃（PP、PE）を有価で処理することで産廃を削減することが出来ている所がありますが、中小、小規模事業所では個社での産廃量が少ないため有価で処理が出来ていない実態があることが分かってきました。例えば、三ッ原工業団地内の事業所内で排出されている樹脂産廃を調査して、同一素材のものが多ければそれをまとめて有価で処理し、リサイクルする活動をしたいと考えています。樹脂産廃回収⇒再生ペレット⇒再生ゴミ袋、再生ストレッチフィルムに戻してそれをまた購入してもらうことで有価買取を実現するスキームで、中小企業群での地域サーキュラーモデルが出来たら良いと考えています。</p>	<p>ゼロカーボンシティの実現に向けた省エネルギー対策の推進や、ごみ削減強化と資源化の推進につながる施策として、事業者等による具体的なしくみづくりに期待します。</p>
4	<p>短期目標2020年までに10%の削減達成おめでとうございます。</p> <p>2030年までに2013年度比46%削減プラスさらなる高みを目指すとのこと。これは2050年まで待てば人口削減で達成できます。</p> <p>目安として、</p> <p>2020年 133,000名 10年対比 4.4%減 2030年 124,000名 20年対比 11.8減 2040年 113,000名 20年対比 19.8減 2050年 98,000名 20年対比 29.5減 2013年 138,000名、2010年 139,000名</p> <p>労働人口はもっと急速に減少して行くのでそれを加味すれば十分に達成可能と思われませんが差額があります。</p> <p>基本方針1～4の具体策で具体的にそこをうめる必要があります。産業系はシステム改善 手順の改善により数値の大幅な変更は望めません。業務家庭運輸部門で他の市ではできないことを考えます。</p>	<p>第7次青梅市総合長期計画の基本構想においては、目標年次である令和14（2032）年に120,700人の人口維持を目指しています。</p> <p>そのため、人口減少に頼るような施策ではなく、目標達成のための具体的な取組を次期（令和7年度～）の青梅市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定作業の中で検討してまいります。</p>

番号	意見要旨	市の考え方
5	<p>太陽光風力発電による冷房暖房を建物建設時の条件として太陽光発電を実施する。冷房に関しては小河内ダムの夏季の深層水放水で市内の冷却を図る。小河内ダムより導水管を引き各建物に引き込み冷房とする。これは小河内ダムの以前の深層水放水に戻し、秋から表層水放水に戻してもらうだけの以前のシステムがのこっていれば低価格でできる。これで融雪パイプを敷設して自動で主要道路の散水をしてもらう低コストの冷却システムで青梅の最高温度を防止する。水冷で旧市街地を冷やす。安価で冷却できる町をめざす。人の住めない高温の街だけは防止します。地元で使えるエネルギーは有効に使いましょう。そのために旧来の技術の見直しもしてほしい。</p> <p>青梅の里山での伐採された木材の利用木材を加工する工場を公園に誘致し、製材しながらまきの半製品を作り、ストーブ用に各家庭で加工乾燥して使用してください。施設用にはチップ・ペレットの加工をして使用していただきます。これで利用できない部分はエチルアルコール製造ラインの誘致。すべての木材をエネルギー原料として使用し木材全ての物流を手に入れましょう。</p> <p>これと同様に生ごみよりのメタン製造などを行いましょう。</p> <p>小河内ダムからの導水を多摩川に戻すときの暖水、その重さを利用してケーブルカーで段階的な段差のある町で自由に動きまわれるように青梅駅まわり再活用を企画。駅回りは冷房のコストの安いなど魅力をふりまいて下さい。</p>	<p>ゼロカーボンシティの実現に向けた再生可能エネルギー等の導入促進や、森林の整備による吸収源対策の推進などの施策の検討を行う、次期（令和7年度～）の青梅市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定作業の中で検討してまいります。</p>